

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成27年7月13日

計画の名称	2 加古川市における下水道の安全・安心の推進（防災・安全）										平成27年度12月	
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象		加古川市				
計画の目標												
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
計画の成果目標（定量的指標）												
・加古川分区の改築計画に基づき、緊急度の高い老朽管渠の改築を平成25年度末で完了させる。 ・加古川遮集幹線の改築計画に基づき、国道や鉄道など主要なインフラとの交差箇所の改築を平成23年度末で完了させる。 ・下水道管路の長寿命化計画を平成24年度末までに策定し、改築更新を進める。 ・安田中継ポンプ場ほか1箇所の長寿命化計画を平成24年度末までに策定し、安田中継ポンプ場の改築更新を進める。 ・下水道による都市浸水対策の達成率を20.3%(H22)から31.5%(H26)に増加させる。 ・民間による住宅開発が進む地域における雨水幹線の整備を平成25年度末で完了させる。												
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値				備考		
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 加古川分区のうち緊急度の高い老朽管渠の改築率 改築・更新が行われた延長（km）／老朽化が著しい管渠の延長（km）						70%	100%	100%				
② 加古川遮集幹線の主要なインフラとの交差箇所の改築率 改築が行われた箇所数／国道や鉄道など主要なインフラとの交差箇所数						0%	100%	100%				
③ 管路の長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの区域（ha）／長寿命化計画を策定すべき区域（ha）						0%	100%	100%				
④ ポンプ施設における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みのポンプ施設数（箇所）／長寿命化計画を策定すべきポンプ施設数（箇所）						0%	100%	100%				
⑤ 都市浸水対策を実施すべき区域のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対し安全である下水道整備が完了している区域の割合（下水道による都市浸水対策達成率） 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)／都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)						20.3%	28.4%	31.5%				
⑥ 住宅開発等の市街地整備促進に伴う雨水幹線の整備率 整備済延長(km)／整備計画延長(km)						0%	28%	100%				
全体事業費	合計 (A + B + C)	2,317 百万円	A	2,317 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A + B + C)	0.0%		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期	平成27年5月
本市内部にて評価を実施	公表の方法	市のホームページにて公表

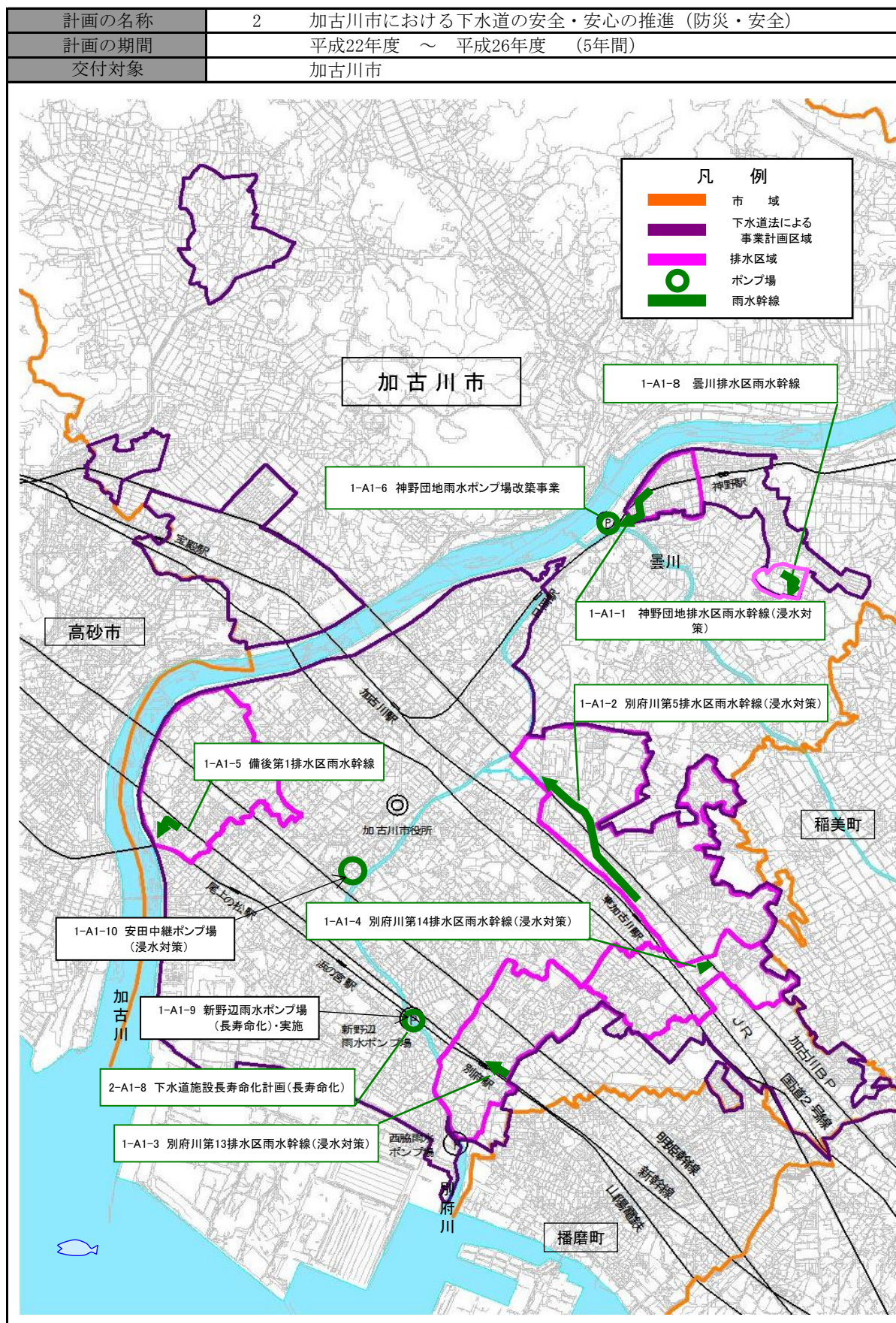
1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

下水道事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
											H22	H23	H24	H25	H26				
1-A1-1	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	神野団地排水区雨水幹線（浸水対策）	L=890m, □1.3m×1.3m他	加古川市						95			
1-A1-2	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	別府川第5排水区雨水幹線（浸水対策）	L=1510m, U4.7m×2.4m	加古川市						510			
1-A1-3	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	別府川第13排水区雨水幹線（浸水対策）	L=100m, φ2600mm	加古川市						90			
1-A1-4	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	別府川第14排水区雨水幹線（浸水対策）	集水面積12ha 貯留量6500m3	加古川市						60			
1-A1-5	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	備後第1排水区雨水幹線	L=290m, □2.0m×1.5m	加古川市						81			
1-A1-6	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	改築	神野団地雨水ポンプ場改築事業	土木、建築、機械、電気	加古川市						310			
1-A1-7	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	雨水幹線実施設計	実施設計	加古川市						40			
1-A1-8	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	曇川排水区雨水幹線	L=418m, □1.3m×1.2m他	加古川市						40			
1-A1-9	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	改築	新野辺雨水ポンプ場（長寿命化）・実施	除塵機、ポンプ等	加古川市						44	長寿命化		
1-A1-10	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水	新設	安田中継ポンプ場（浸水対策）	除塵機、雨水ポンプ等	加古川市						516			
2-A1-3	下水道	一般	加古川市	直接	-	合流・汚水	改築	下水道管路施設長寿命化計画（長寿命化）・実施	管路調査・計画策定, L=490m	加古川市						165	長寿命化		
2-A1-4	下水道	一般	加古川市	直接	-	合流	改築	加古川分区改築事業	w=800～1,200mm L=580m	加古川市						135			
2-A1-5	下水道	一般	加古川市	直接	-	合流	改築	加古川遮集幹線改築事業	φ=1,100mm L=170m	加古川市						70			
2-A1-6	下水道	一般	加古川市	直接	-	合流	改築	安田中継ポンプ場（長寿命化）	汚水除塵機、雨水ポンプ等	加古川市						143	長寿命化		
2-A1-8	下水道	一般	加古川市	直接	-	雨水・汚水	改築	下水道施設長寿命化計画（長寿命化）	施設（機械・電気）調査・計画策定	加古川市						18	長寿命化		
小計（下水道事業）																2,317			

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26							
合計																					
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26							
合計														0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考						
2. 事業効果の発現状況、目標値の発現状況																					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況							加古川分区のうち緊急度が高い老朽管及び加古川遮集幹線の主要なインフラとの交差箇所について改築を実施した。また、下水道管路及びポンプ施設において、長寿命化計画を策定し、改築更新を行った。さらに、雨水幹線の整備を進めることにより、下水道による都市浸水対策の達成率が向上した。 以上のことにより、下水道の安全性、快適性が向上した。														
Ⅱ 定量的指標の達成状況						指標①加古川分区のうち緊急度が高い老朽管渠の改築率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	整備計画の一部区間において、その上流部で行う防災街区整備事業にあわせて貯留槽設置工事が実施されることとなり、大雨時における下流域への雨水流出抑制を見極めながら工事に着手することとして、事業実施時期の見直しを行いました。											
							最終実績値	93.8%													
						指標②加古川遮集幹線の主要なインフラとの交差箇所の改築率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因												
							最終実績値	100%													
						指標③管路の長寿命化計画策定率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因												
							最終実績値	100%													
						指標④ポンプ施設における長寿命化計画策定率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因												
							最終実績値	100%													
						指標⑤下水道による都市浸水対策達成率	最終目標値	31.5%	目標値と実績値に差が出た要因	別府川第1 3排水区は、雨水幹線整備に伴う地下埋設物の移設に時間と費用を要し、一部用地買収が必要となることから、事業計画時期の見直しを行いました。 別府川第1 4排水区は、調整池の整備について地元調整に時間を要しているため、事業実施時期の見直しを行いました。											
							最終実績値	29.9%													
						指標⑥住宅開発等の市街地整備促進に伴う雨水幹線の整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因												
							最終実績値	100%													
						Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															
						3. 特記事項（今後の方針等）															

水の安全・安心基盤整備



水の安全・安心基盤整備

